

聞思

今号の法語

仏法とは鉄砲の反対だ
鉄砲は外を撃つものだが
仏法は己の内を撃つものである
高光大船

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
https://kousanji.net

■護持会より「護持会費」納入のお願い

ご門徒の皆さまには益々ご清栄にてお念仏ご相続のこととお慶び申し上げます。平素は光山寺の護持発展に格別のご尽力ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度より光山寺護持のため護持会費の納入をお願い致しております。お陰様で、昨年度は九割近いご門徒の皆様が納入を頂戴いたしました。本年度も十一月上旬にご案内お願いを致したいと思います。

尚、数年分を前納いただきました皆様には、お扱いの品を同時にお届けする予定です。本年度もご協力宜しくお願い致します。

■一人暮らしの方の「見守りアプリ」を開発

住職の次男が起業いたしました会社が一暮らしの方の見守りアプリを開発いたしました。昨今、皆様スマートフォンをご利用かと思えます。見守りたい対象者のスマートフォンの最終ご利用が自動でわかります。また、登録電話番号に連絡が飛ぶ緊急ボタンなどもついています。気づかれずに倒れていたらどうしようという心配などに便利です。

安否確認ができる無料アプリ 見守りアプリ「マモルバ」



iOS版はこちら



Android版はこちら

マモルバ アプリ

■得度しました

住職の三男の武田拓が、七月に浄土真宗本願寺派僧侶として得度いたしました。ご門徒の皆様にはお参りでお世話になるかと思えます。引き続き宜しくお願いいたします。尚、法要での得度披露は少し先になる予定です。



■仏教婦人会法座の「報告」



光山寺仏教婦人会会長、来島和子さんから仏教婦人会法座におけるバザー報告を頂きました。

「去る六月二十二日（日曜日）、光山寺仏教婦人会法座で、法座終了後にバザーを開催いたし、無事に終える事ができました。

バザーでは、皆様のご協力によりまして、七万七千二百六十六円の収益がありました。

恒例の夏みかん菓子、ピザ、ケーキ、マーマレード、若婦（光華会）の皆さんが、クッキーやところてんを用意してくれました。洋菓子店さんからの品揃えで楽しんでいただけたと思います。出品いただいた手作りバックや人形、野菜等、心のこもった品々もあり難うございました。お越しいただいた皆様に、ゆつくり甘夏ジュースを飲んでいただけなかつたのが残念でしたが、次回は喜んでいただけるように用意したいと思えます。最後になりましたが、婦人会の皆様には、お掃除や会場準備等、ご協力いただき、本当にありがとうございました。」

■仏教壮年会主催「グランドゴルフ大会」参加者募集

仏教壮年会（会長、尾方忠久）では体育部（部長、西本一夫）行事の一環として、十月十九日（日曜）午後二時、白水小学校グラウンドにてグランドゴルフ大会を開催します。（雨天中止）一位〜三位までの皆さんには光山寺より景品が出る予定です。

参加には男女・性別を問いません。（自身の道具をお持ちの方はご持参ください。）

参加申込は、壮年の皆様は壮年会地区役員へ、女性の方は光山寺まで直接、お名前住所・連絡先電話を「ご連絡ください。（参加費無料）会場の都合により参加希望者が多数の場合には、三十名程度にて締め切らせていただきます。

また、壮年会の皆様には午後四時半より光山寺庫裏にて慰労懇親会を開催します。（こちらは雨天決行）懇親会への参加もできますので、お申込ください。（参加費千円）

光山寺行事案内

関連行事にはカレンダーに◎印を！
令和七年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要関連

九月二九・三〇日（月・火曜）

秋季永代経法要（講師、福田康正師）

※御斎は両日とも用意しています。

十一月二八・二九日（金・土曜）

報恩講法要（講師、岡智徳師）

※門徒会費納入開始日

★山口教区・萩組関連

九月三〇日（火曜・光楽寺）十一月四日（火曜・泉聖寺）連研

十月十六日（木曜）山口教区仏婦大会（サンビームやない）

十一月一〇日（月曜）第四ブロック門徒推進員研修会（蓮正寺）

十一月二五日（火曜）山口別院にて帰敬式

十一月二六・二八日（水曜・金曜）

山口別院報恩講法要（山口別院）萩組参拝日二七日

★子ども会（土曜学校）関連

十二月一日（土曜）子ども報恩講（萩組、後日詳細あり）

★仏教青年会関連

十二月三一日（水曜）※除夜会（富くじ抽選会あり）

★仏教壮年会関連

十月一九日（日曜）午後二時 ゴルフ大会（白水小）

十一月二八日（金曜）午後七時 報恩講夜座

十二月二〇日（土曜）午後六時 光山寺仏壮研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

九月二七日（土曜）午前八時半 秋季永代経の清掃

十一月二六日（水曜）午前八時半 報恩講の清掃

★親鸞聖人讃仰会

十月二〇日（月曜）※本年最後

★お経の練習会（旧、礼讃の夕べ）

九月一三日（土曜）十月四日（土曜）午後八時（本堂）

★雅楽練習会

九月二二日（日曜）十月二六日（日曜）午後七時半（庫裡）

★仏教讃歌コーラス練習会（本堂）

※詳細はお尋ねください。

★ヨガ教室

※原則土曜日の午後四時四十分より。

皆務集、お知らせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山で門主によつて執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます。(山口別院では、椅子席にて帰敬式を受式できます)

日時は十一月二十五日(火曜日)、午後一時より受付、午後一時半執行。冥加金は成人一万円三千円・未成年八千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名生年月日・住所を必ず十月七日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が可能です。九月九日迄となっています。尚、ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日二回行われています。

法要時間変更のお知らせ

永代経法要(春・秋)や報恩講法要の午後の座の開始時間が昨秋の永代経法要より変更となっています。午後一時からと三十分ほど早くなります。午後よりお参りの皆様にはお間違いないようにお願いいたします。

報恩講夜の座

光山寺の報恩講日程は、今年は十一月二十八・二十九日の二日間の予定、朝・昼・夜の合計五座の法座が勤修される予定です。日程の関係上、仕事などで聴聞ができない方々のために夜の座が開かれています。今年の報恩講ではこの夜の座が十一月二十八日午後七時より開かれます。本年のご講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけるかと思えます。また、夜座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜座が仏教壮年会の研修をかねていますので、仏教壮年の皆さまには万障繰り合わせの上ご参加ください。

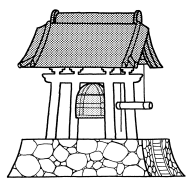
お願い

納骨堂の継承者の変更等がありました時には、必ず書面にて申出ください。特に、近年は固定電話を廃止される方が多く、携帯電話番号が不明ですと、住所変更後に連絡がつかなくなる場合が発生しております。また、固定電話を廃止されましたご門徒の方におかれましては同様にお願いいたします。



除夜会でお楽しみ抽選会を今年も開催

大晦日恒例の除夜会では、本年もお楽しみ抽選会を実施いたします。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されます。平成二十六年より、鐘をつかれる方全員に抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、抽選会を実施しています。鐘をつけなかつた方にも抽選券を配布しますので、お越し下さい。



山口別院より令和八年能登半島地震に関するお知らせ

浄土真宗本願寺派「たすけあい運動募金」より義援金の窓口が開設されています。また、本願寺金沢別院内に令和六年能登半島地震 浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センターも開設されています。本願寺山口別院では、上記義援金及び支援金の受け付けを行っております。

山口教区郵便振替口座 01560-3-26575
(山口教区教務所教化団体)

※払込取扱票にご送金の内容として「義援金」または「支援金」のご記入をお願いします。義援金につきましては、宗派「たすけあい運動募金」へ送金させていただきます。支援金につきましては、石川教区をはじめとする被災教区へ直接送金させていただきます。

山口教区オープン連研のご案内

門徒推進員養成のための連続研修会(連研)は浄土真宗のみ教えや作法について学び「話し合い法座」を行います。話し合いのきつかけ(問題提起)を受け、そのことについて思うことを自由に話し合います。ご一緒に参加された方たちと話し合い、聞き合うことで自分一人では気づかない新たな発見があることでしょう。

また、連続して参加することによって、小さな気づきながら、大きく深い学びとなっていくと思います。このような「連研」を体験していただき、組連研開催につなげていただきたいと思います。

※日程

- 第一回 十月二二日(水曜) 午後一時~三時四十分
 - 第二回 十一月十二日(水曜) 同上
 - 第三回 十二月 三日(水曜) 同上 ※原則三回ご参加ください
- ※講師 第二回:賀陽寛氏(岩国組萬行寺)
香川大氏(防府組明覚寺、光永孝之氏(阿武組瑞光寺)
第二回:中村隆教氏(岩国組宗清寺)
第三回:熊谷正信氏(岩国組西福寺)

※会場 本願寺山口別院

※対象者 教区内門信徒

※参加費 一人あたり 千円(見学者も同額)

当日受付にて納入ください。

仏教豆辞典(辻本敬順著)

末世 「もう末世だよ」「末世だなあ」と、末世という語は悲観的な表現で用いられています。お釈迦さまが入滅されてから五百年、千年の間を「正法」の時代と呼び、仏教を正しく行い悟りを開く人のいる時代とされ、その後の千年間は仏教を行ってもなかなか悟りを開く人はいない「像法」の時代とされています。それが過ぎると仏教は形骸だけになり、人々は救われず、五濁悪世になるといい、これを「末法」の時代というのです。

末世とは末法のことです。日本では永承七年(一〇五二)から末法に入ったといわれました。親鸞聖人は『正像末和讃』に、「釈迦如来かくれまして 二千余年になりたまふ 正像の二時はおほりにき 如来の遺弟悲泣せよ」とあるのがそれです。親鸞聖人はそんな中で、本願念仏だけが救済のよるべになると教えられました。

老婆心

「老婆心ながら」とことわつて、一言つけ加えたり、忠告したりする場面に出くわすことがよくあります。言わずもがなでしょうが、とか、おせっかいとは思いますが、という意味なのでしょう。

「老婆心」とは「老婆心切」とか「親切心」とかいつて、老婆が子供や孫を愛撫し、いつくしむように、師匠が修業者に対して、あたたく導くこと。その心が深く厚いことを意味する仏教語だったので。

それが、度を越して、必要以上に世話をやこうとする気持ち、表わす言葉となっていたようです。

本願寺山口別院 YouTube チャンネルにて法要・法話を配信いたします!



ホームページ



YouTube チャンネル

山口別院

検索

